



INDEX

日本教育工学会 第30回全国大会のお知らせ(第三報).....	2
2014年 日本教育工学会 夏の合宿研究会 案内(最終報).....	10
研究会の開催「テーマ:学習環境デザイン」.....	11
研究会の発表募集「テーマ:学校教育におけるポートフォリオの活用」.....	12
研究会の開催報告「テーマ:ICTを活用した教育・学習」.....	12
日本教育工学会論文誌 特集号 論文募集.....	13
「特集:教員養成・現職教育の新しい展開」のご案内(第三報)	
第15期第8回理事会議事録.....	14
新入会員.....	15

日本教育工学会 第30回全国大会のお知らせ（第三報）

大会 Web ページ : <http://www.jset.gr.jp/taikai30/>

日本教育工学会第30回全国大会を、下記のように岐阜大学において開催します。多くの方々のご参加をお待ちしています。また、研究発表にも奮ってご応募下さい。

1. 開催期日・会場

期日：2014年09月19日（金）～21日（日）

会場：岐阜大学 〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

<http://www.gifu-u.ac.jp/>

2. 大会日程（予定）

09月19日（金）	09月20日（土）	09月21日（日）
08:30～17:00 受付	08:30～17:00 受付	08:30～15:00 受付
09:20～11:00 一般研究発表1 （口頭発表）	09:00～11:40 一般研究発表4 （口頭発表）	09:00～11:20 一般研究発表6 （口頭発表）
11:10～12:10 一般研究発表2 （ポスター発表）	11:50～12:50 一般研究発表5 （ポスター発表）	11:30～12:30 一般研究発表7 （ポスター発表）
12:10～13:40 昼食，理事会 企業ランチセッション	12:50～13:50 昼食，各種委員会	12:30～13:30 昼食
13:40～15:40 一般研究発表3 （口頭発表）	13:50～14:40 全体会 （表彰，会長講演）	13:30～16:00 SIGセッション
15:50～17:50 トークセッション	14:50～17:50 30周年記念 シンポジウム	16:10～ 大会企画委員会
18:00～20:00 ワークショップ	18:00～20:00 懇親会	
10:00～18:00 企業展示	09:00～14:00 企業展示	
* プログラム編成によっては、時間帯が若干変わることもあります。 * 企業展示が第1日目，第2日目に開催されます。ぜひ見学にお立ち寄り下さい。 * 特に，初日昼休みには，無料ランチ付きの企業ランチセッションを開催します。		

託児所の提供について

前回大会に引き続き，大会期間中，託児所を提供する予定です。料金等，詳細は検討中です。決まり次第，ニューズレター，ホームページ等でお知らせいたします。

3. 今大会での注目点，前回大会からの変更点

- ・ 日本教育工学会設立30周年を記念して，シンポジウムを開催いたします。
- ・ これまで課題研究セッションとして行ってきたものを，本大会から”現代的教育課題に対するSIG（Special Interest Group）セッション”とし，実施方法を変更します。
- ・ 前回大会に引き続き，トークセッションを開催します。
- ・ 参加費は，CD-ROM版の講演論文集込みの価格となります。
- ・ 事前申し込みされた方は，大会講演論文集を，大会初日の約1週間前（09月12日（金））を予定から大会関係のWebサイトからダウンロード可能になります。そのため，講演論文集の発行日は，ダウンロード可能になる日になります。
- ・ 前回大会と同様，企業ランチセッションが初日の昼に行われます。企業ブースへの出展企業から各

3分程度のプレゼンテーションをして頂きます。参加者には、先着150名程度（予定）にランチを提供いたします。

- ・ 提出された原稿のPDFは、学会がWebサイト等に掲載することを許諾して頂きます。
- ・ 全国大会の原稿は、あるレベルで完結した内容であることを求めます。「結果は当日会場で発表する」等の書き方はしないで下さい。大会企画委員会で判断し、修正を求める場合があります。

4. シンポジウム、トークセッション

シンポジウム、トークセッションの内容は検討中です。決まり次第、大会Webページならびにニューズレターに詳細を掲載いたします。

5. SIGセッション

全国大会だけではなく、年間を通して特定の研究テーマについて議論をしていく場として、本大会から”現代的教育課題に対するSIG (Special Interest Group) セッション”を設けることにしました。本大会のSIGセッションにおいては、今後SIGとして共通認識したい研究テーマやその進め方などを検討します。そのため、今年度は各グループのコーディネータが中心となり、発表や議論の場を設定します。具体的な進め方は、各グループにおいて議論をしていますが、昨年度までの課題研究発表のように、研究発表を共通して公募するような形は、本年度はとりません。

これまでの課題研究でのセッションを参考としながら、以下の6つのグループとコーディネータを予定しています。

■SIG-01 高等教育・FD

コーディネータ：渡辺雄貴（首都大学東京）、松河秀哉（大阪大学）、根本淳子（熊本大学）

■SIG-02 教師教育・授業研究

コーディネータ：今井亜湖（岐阜大学）、梅澤 実（埼玉学園大学）、益子典文（岐阜大学）、
姫野完治（秋田大学）

■SIG-03 教育システム開発

コーディネータ：緒方広明（九州大学）、森本康彦（東京学芸大学）、
飛弾信崇（ベネッセコーポレーション）、江木啓訓（神戸大学）

■SIG-04 教育の情報化

コーディネータ：寺嶋浩介（長崎大学）、森下耕治（光村図書）、佐藤喜信（内田洋行）、
豊田充崇（和歌山大学）、稲垣 忠（東北学院大学）、後藤康志（新潟大学）、
藤川大祐（千葉大学）、今野貴之（明星大学）

■SIG-05 ゲーム型学習・オープンエデュケーション

コーディネータ：藤本 徹（東京大学）、重田勝介（北海道大学）

■SIG-06 協調学習・学習科学

コーディネータ：舟生日出男（創価大学）、鈴木栄幸（茨城大学）

6. 一般研究（口頭発表とポスター発表）

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表に分かれます。どちらの発表も同じ一般研究発表であり、口頭発表とポスター発表に質的な優劣はありません。発表目的に合わせてご選択下さい。なお、プログラム編成の都合上、口頭発表とポスター発表の発表形式のご希望に添えない場合があるかもしれません。ポスター発表の枠を増やした場合、口頭発表で申し込まれていてもポスター発表になる場合もあります。あらかじめご了承下さい。ポスター発表者は、発表セッションの時間帯は、ポスター前で説明及び討論に従事しなければなりません。全てのポスター前に机を設けますので、適宜使用することができます。インターネット環境は整備していませんので、必要な場合は、各自でご準備下さい。

- (1)語学教育・国際理解 (2)情報教育(情報活用能力の育成等) (3)情報モラル (4)教科指導における ICT 活用 (5)メディア教育・メディアリテラシー (6)教師教育 (7)特別支援教育 (8)生涯学習 (9)企業内教育 (10)看護・福祉教育 (11)教育評価・データ解析 (12)授業研究 (13)授業設計・実践 (14)高等教育の教育方法・FD (15)教育ソフトウェア開発・評価 (16)学習コンテンツ開発・評価 (17)遠隔教育・遠隔学習 (18)知的学習支援システム (19)認知と学習 (20)教育メディア (21)e-Learning (22)e ポートフォリオ (23)協調学習と協調作業 (24)ワークショップ (25)ソーシャルメディア (26)その他

7. International Session (口頭発表)

発表及び質疑応答が英語で行われます。本セッションは、教育工学研究の国際化に対応するものであるとともに、特に若い研究者に対しては、国際学会等での研究発表や討論を有意義なものとするための体験を提供する機会でもあります。発表は一般研究の口頭発表のいずれかのセッションと同じ時間帯で行われます。

8. ワークショップ

ワークショップは大会企画委員会が中心となって開催する、参加者が設定した教育工学に関連するテーマについてインフォーマルに語りあう場です。実践は進んでいるものの研究として認識されていない問題や、新しい情報技術の教育利用などの萌芽的な研究について議論を行って頂くことを考えております。ワークショップは主催者主導で進行して頂きます。また、予稿の用意は必要ありません。なおプログラム集には、ワークショップテーマ名・主催者/共催者名・概要が掲載されます。

テーマは公募といたします。会場の都合から、大会企画委員会では7～8件程度を上限として採択いたします。あらかじめご了承下さい。議論を通じて、教育工学に関心を持つコミュニティが作られ、発展していくことを期待しています。積極的なご応募をお待ちしております。

応募のスケジュール：

06月05日(木)～07月03日(木) ワークショップ テーマ受付期間

07月10日(木) ワークショップ テーマ決定(応募多数の場合、採否結果通知をいたします)

応募方法・応募先：

電子メールにて、ワークショップ主催者と共催者の氏名、ご所属、メールアドレス、ワークショップテーマ名と概要(300字程度)を大会企画委員会ワークショップ担当(taikai2014-ws@jset.gr.jp)までお送り下さい。

なお、件名は「ワークショップ応募」として下さい。

9. 発表時間

発表時間は以下の予定です(発表件数に応じて変わる場合があります)。

[一般研究] <口頭発表>発表 14分 質疑応答 5分(昨年と同じです)

<ポスター発表>各セッション 60分(昨年から変更されています)

[International Session] 発表 14分 質疑応答 5分

10. 発表内容と会場の撮影、録音、録画等について

発表者、参加者の双方に次のことをお願いいたします。

- 1) 発表者は参加者が発表内容を撮影、録音、録画する可能性のあることを承知の上で発表して下さい。参加者に記録されると問題が生じる可能性がある場合には、発表者自身が参加者に記録しないよう指示して下さい。
- 2) 撮影、録音、録画したものについて、日本国の著作権法が規定している範囲以外で利用される場合は、発表者の許可をとって下さい。
- 3) 大会スタッフが記録用写真やニューズレター用写真を撮影します。撮影を拒否される方は、記

録係のスタッフに撮影しないようお願い下さい。

- 4) 本大会から、ポスター発表の運営改善を目的とした調査として、会場における発表者・参加者の移動などの情報を収集します。調査結果は個人を特定しない形で分析した上で、今後の大会運営の参考資料とするとともに、日本教育工学会全国大会などで報告します。調査対象からの除外を希望される方は、会場系のスタッフにお伝え下さい。

11. 大会までのスケジュール

06月05日	木	ワークショップ テーマ受付開始
07月03日	木	ワークショップ テーマ受付締切
07月01日	火	一般研究発表／International Session 申込・原稿（2ページ）受付開始
07月10日	木	ワークショップ テーマ決定
07月15日 17:00	火	発表者の参加費事前送金締切（クレジットカード払い、郵便振込共に） 一般研究発表／International Session 申込書・原稿（2ページ）提出 ※17:00が最終締切時刻となります。原稿の差し替えは、07月22日（火）17:00まではWeb上で可能です（電子メールによる差し替えは認められません）。
07月22日 17:00	火	提出原稿の差し替え締切 （17:00厳守。この時刻以降の原稿の提出は一切受け付けません）。
08月26日	火	発表者以外の参加費等事前送金期限（クレジットカード払い、郵便振込共に） （それ以降は送金しない）

12. 大会への発表申し込み等

(1) 発表者の資格

- ・ [発表者]は、本学会の会員に限ります。ただし、会員以外が連名者となることは、差し支えありません。ここでいう[発表者]とは、ファースト・オーサーあるいは連名者という意味ではなく、大会当日発表される方を意味します。この会員には、発表申込時に入会される方も含まれます。
- ・ 発表原稿受付の段階で[発表者]が年会費を納入されていない場合には発表原稿を受け付けません。また、[発表者]には、事前に大会参加費を送金して頂くことになっております。ご注意ください。発表原稿送付時に、オンラインで年会費等の納入状況がチェックされます。事前に年会費等の納入をお願いします。なお、大会企画委員会が特に発表を依頼した場合はこの限りではありません。
- ・ ワークショップの主催者は、事前送金締切までに、年会費、大会参加費を納入されていることが、ワークショップ開催の条件となります。
- ・ 維持会員に所属する者は、最大3名まで個人会員として加入しなくても発表ができます（大会参加費はお支払い頂きます）。発表原稿をオンラインで登録できるようにするために、該当する発表者を事前に登録します。07月20日（日）までに大会企画委員会（taikai2014@jset.gr.jp）にご連絡下さい。この期限を過ぎた後の受付はできませんので、ご注意ください。

(2) 発表申込件数の制限

- ・ 会員は、[一般研究・International Session]に、それぞれ1件（1人合計最大2件）を発表者として申し込むことができます。さらに、ワークショップ1件を主催できます。
- ・ 発表者でない連名者の件数には、制限はありません。
- ・ 類似の内容、シリーズ的な内容を複数の発表者に分割して申し込むことはできません。

(3) 一般研究およびInternational Sessionの発表申込方法

- ・ 07月15日（火）17:00までに、JSETホームページ大会関係部分から原稿ファイルを提出して下さい。事前の発表申し込みはありません。この提出によって発表申し込みとします。

- ・ 一般研究とInternational Sessionの原稿は共に、A4サイズで2ページです。1ページのものは受け付けません。JSET大会ホームページに示される指定に従って作成して下さい。
- ・ 発表日時の希望には応じられません。また、発表者及び連名者には、大会企画委員会より「座長」の依頼を受けた場合には、それをご担当頂きますので、あらかじめご了承ください。

(4) CD-ROM の作成について

今大会では、論文誌として、論文本文の文字列検索が可能なCD-ROM (PDFファイル) を作成します。昨年と同様に、ファイル提出時の注意に従って提出して下さい。

(5) 発表取り消しについて

やむを得ない事情で発表を取り消しなされる場合には、すみやかに、大会企画委員会 (taikai2014@jset.gr.jp) までご連絡下さい。 その場合には、論文集に原稿が掲載されていても、発表者の業績としてみなすことはできません (学会から提供する発表リストから削除します)。なお、ポスター発表については、ポスターを掲示していても発表者が会場にいない場合は、発表取り消しとなりますので、ご注意ください。

【重要】 原稿ファイルの提出に関するお願い

論文集の CD-ROM は、論文本文中の文字列の検索が可能になる方法で作成します。このために、次のご協力をお願いいたします。

PDF/X-1a 形式による提出：(PDF/X-1a 形式の説明は：<http://www.jset.gr.jp/taikai30/>)

PDF/X-1a 形式で提出して頂きます。また、PDF だけでなく、元ファイル (MS-Word 形式や一太郎形式のファイル) も提出して下さい。TeX で作成される場合でも、フォントの埋め込み処理が行われていないことがありますので、ソースファイルすべてをひとまとめにして (アーカイブ形式等)、提出して下さい。

【注意】

1. 原稿サイズ A4 版を B5 版に縮小して印刷します。細い線が消えてしまう場合がありますので、細すぎないように注意して下さい。
2. PDF 作成時に、図表やキャプションの位置が意図しない場所に移動することがあります。作成した PDF を印刷してチェックしたのち、投稿して下さい。
3. PDF にフォントが埋め込まれているか自信がない場合には、一般的なフォント、文字コードを利用して下さい。文字コードによっては、検索できない場合もあります。
4. 大会ホームページに掲載される方法に従ってファイルを作成して下さい。提出して頂いたファイルの書式や文字化け等のチェック作業は、大会企画委員会では一切行いません。

13. 大会の参加申し込み及び受付等について

大会に参加を希望される方は、以下の手順に従って申し込みをお願いします。

(1) 参加費等について

前回大会から、参加費に CD-ROM 版の論文集を含むことになりました。いずれの 카테고리의参加費も、従来の冊子版のプログラムと CD-ROM 版の論文集が含まれます。

事前に参加費等を送金される場合は、以下の金額を、事前支払期限までに送金して下さい。事前支払期限は、発表者の場合、郵便振替の場合もクレジットカード支払いの場合も 07 月 15 日（火）です。発表者以外の方は、郵便振替の場合もクレジットカード支払いの場合も 08 月 26 日（火）です。

参加費（冊子体プログラムと CD-ROM 版の講演論文集を含む）

正・准・名誉会員	8,000 円（当日は 10,000 円）
学生会員	2,000 円（当日は 4,000 円）
非会員	9,000 円（当日は 12,000 円）
非会員の学生	4,000 円（当日は 6,000 円）
懇親会費	5,000 円（当日は 6,000 円）
講演論文集代	8,000 円（冊子体のみ） 4,000 円（CD-ROM 版のみ） 10,000 円（冊子体+CD-ROM 版）
講演論文集送料	1,000 円（冊子体が含まれる場合） 500 円（CD-ROM 版のみの場合）

参加費には、プログラム冊子および CD-ROM 版講演論文集代を含みます。参加費には、昼食費等の食事代は含まれておりません。ランチセッションは、企業からの協賛費用から先着 150 名にお弁当を提供するもので、参加費とは無関係です。

事前支払期限以降に送金された場合は、当日参加の場合との差額を会場でお支払い頂きます。なお、事前支払期限までに発表者の参加費及び 2014 年度会費の納入が確認できない場合は、発表は取り消しとなりますので、ご注意ください。

08 月 26 日（火）までの変更については、[大会企画委員会 \(taikai2014@jset.gr.jp\)](mailto:taikai2014@jset.gr.jp) までご連絡下さい。送金なされた分を次年度の年会費に振り替えることができます。返金はしません。非会員の場合は入会をして頂くことになります。この日以降は、変更を連絡頂いても、原則として振り替え等ができないことをご了解下さい。

大会参加費を事前に送金したけれども、学会事務局に連絡することなく、大会に参加されなかった場合には、その旨を[大会企画委員会 \(taikai2014@jset.gr.jp\)](mailto:taikai2014@jset.gr.jp) までご連絡下さい。プログラムと CD-ROM 版論文集をお送りします。

卒業見込み年月が過ぎた学生会員で継続の連絡がない場合は、「准会員」に会員種別が変更されています。学生会員としての特典はありませんので、ご注意ください。

(2) 事前の送金と参加登録について

会員と非会員で参加費等が異なります。JSET 大会ホームページ (<http://www.jset.gr.jp/taikai30/>) の「参加申し込み」ページにアクセスして下さい。その画面で、①正会員・准会員・名誉会員の場合、②学生会員の場合、③非会員の場合、④非会員の学生の場合を選択できますので、それぞれの場合の説明に従って参加登録と送金手続きをお願いします。

また、送金方法として、3つの方法が準備されます。それらは、①クレジットカードによる支払い、②郵便振替、③当日会場で現金で支払いです。

①「クレジットカードによる支払い」の場合

- ・ 前述の「参加申し込み」ページで、「クレジットカードによる支払い」を選択して下さい。
- ・ ただし、その際には学会から発行してご連絡してあります ID・パスワードが必要です。パスワード

をお忘れになった場合は再発行いたしますので、大会企画委員会 (taikai2014@jset.gr.jp) に、電子メールでご連絡下さい。

- ・その後表示される指示に従って、手続きをお願いします。

②「郵便振替」の場合

- ・会員が郵便振替で送金される場合も、「参加申し込み」ページで、「郵便振替」を選択して下さい。
- ・その後表示される指示に従って、手続きをお願いします。その際表示される金額と送金内容を、学会からニューズレターと一緒に送りする郵便振替用紙に記入して、郵便局の窓口から送金して下さい。なお、必ず会員番号をお書き下さい。
- ・郵便局窓口で送金されてから学会のデータベースに入力されるまで、1週間から10日かかります。
- ・不足料金がある場合、電子メールアドレスがわかる方にはできるだけ事前に連絡しますが、全員にはご連絡できないことも想定されますので、十分ご注意下さい。

③「当日会場で現金で支払い」の場合の事前登録

- ・「当日会場で現金で支払い」の場合でも、参加登録を事前にして頂きますと、会場での受付が非常に簡便になります。
- ・この場合、「参加申し込み」ページで「当日会場で現金で支払い」を選択して下さい。
- ・その後表示される指示に従って、手続きをお願いします。
- ・登録内容が自動的にメールで送信されますので、それをプリントして当日会場受付にお出し下さい。当日参加票に記入する必要がなくなります。

(3) 大会受付票等の送付について

- ・クレジットカード支払い、あるいは郵便振替で事前送金された参加者には、9月上旬までに、「大会受付票」「大会参加証(名札用)」「領収書」を電子メールの添付書類でお送りします。
- ・大会当日は、電子メールで送られた「大会受付票」等をプリントしてお持ち下さい。
- ・ただし、電子メールアドレスが登録されていない会員には、大会受付票等が送られませんので、当日会場に掲示される「事前送金者リスト」で番号を確認の上、その旨お申し出下さい。

(4) 当日の受付について

(a) 事前送金済みの場合

- ・大会受付の「事前送金済参加者」窓口で、電子メールでお送りした「大会受付票」をお渡し下さい。
- ・大会プログラム、大会論文集等をお渡しします。
- ・プリントして持参して頂いた「大会参加証(名札用)」を名札ケースにお入れ下さい。
- ・大会受付票をお忘れになる場合に備えて、できれば受付番号をメモしておいて下さい。
- ・大会受付票を持参されなかった方は、当日会場に掲示される「事前送金者リスト」で番号を確認の上「事前送金済参加者」窓口にて、その旨、お申し出下さい。
- ・送金金額に不足があり、大会当日に差額をお支払い頂く場合は、「総合受付」でお受けします。

(b) 当日参加の場合

- ・当日参加者は、大会受付にて、「当日参加受付票」に必要事項を記入して、それを大会受付の「当日参加者」窓口にてお渡し下さい(名刺をお渡し下さる場合は、連絡先住所等の記入を省略することができます)。
- ・ただし、学会ホームページから参加登録を行った会員は、自動送信されたメールをプリントしてお持ち下さい。会場で「当日参加受付票」に記入して頂く必要がなくなります。
- ・お支払い頂いた金額に応じて、大会プログラム、大会論文集等をお渡しします。
- ・名札ケースに名刺を入れるか、お名前をカードに書いて入れて下さい。
- ・懇親会費を支払われた場合は、名札にマークをはらせて頂きます。

14. 会場の設備について

口頭発表のすべての会場で、コンピュータの画面を投影できる設備（プロジェクタ）が利用可能です。なお、貸出用コンピュータやOHP、実物投影装置は用意しません。また、インターネットにアクセスできる環境は用意されておりません。機器の利用確認は、当該の発表セッション開始5分前までに発表者の責任で完了して下さい。また、コンピュータから音声を流す場合は、スピーカーを発表者自身でご用意下さい。

ポスター発表の会場では、幅90cm・高さ180cm程度のポスター掲示用パネルを用意する予定です。また、パネル前に机（高さ70cm程度）を用意しますので、配布資料やデモンストレーション用のパソコン等を置くことが可能です。また、インターネットにアクセスできる環境は用意されておりません。さらに、電源は用意されていないので、それを前提にした発表準備をお願いいたします。

15. 企業の展示について

大会期間中、企業による製品等の展示も行います。今年は、企業ランチセッションを初日の昼に開催いたします。企業ブースへの出展企業から各3分程度のプレゼンテーションをして頂きます。参加者には、先着150名程度（予定）にランチを提供します。

出展、ならびに大会プログラム等における広告を募集いたしますので、ご希望の方は大会企画委員会企業展示ワーキンググループ（tenji2014@jset.gr.jp）へお問い合わせ下さい。

16. 宿泊について

09月20日（土）から21日（日）まで、岐阜市内にて大きな学会が開催されることが決まっています。ホテルのご予約は早めに行われることをお勧めいたします。

岐阜駅周辺に宿泊施設が確保できない場合、JR線沿線での宿泊施設、名古屋駅周辺（岐阜駅まで26分程度）、尾張一宮駅周辺（10分程度）、大垣駅周辺（15分程度）もあわせてご検討下さい。

当日、JR岐阜駅から岐阜大学までのバスは、混雑が予想されるため、増便を予定しています。なお、増便されるバスは名鉄岐阜駅には停車しません。

17. 問い合わせ先

大会全般に関しては以下にお問い合わせ下さい。

大会企画委員会 問い合わせ用電子メールアドレス：taikai2014@jset.gr.jp

大会企画委員会

委員長：美馬のゆり（公立ほこだて未来大学）

副委員長（五十音順、以下同様）：寺嶋浩介（長崎大学）、前迫孝憲（大阪大学）

幹事：今野貴之（明星大学）、舟生日出男（創価大学）、松河秀哉（大阪大学）、渡辺雄貴（首都大学東京）

委員：稲垣 忠（東北学院大学）、今井亜湖（岐阜大学）、梅澤 実（埼玉学園大学）、江木啓訓（神戸大学）、

緒方広明（九州大学）、後藤康志（新潟大学）、佐藤喜信（内田洋行）、重田勝介（北海道大学）、

鈴木栄幸（茨城大学）、豊田充崇（和歌山大学）、根本淳子（熊本大学）、

飛弾信崇（ベネッセコーポレーション）、姫野完治（秋田大学）、藤川大祐（千葉大学）、

藤本 徹（東京大学）、益子典文（岐阜大学）、村瀬康一郎（岐阜大学）、森下耕治（光村図書）、

森本康彦（東京学芸大学）

担当副会長：中山 実（東京工業大学）

アドバイザー：山西潤一（富山大学）、室田真男（東京工業大学）

大会実行委員会

委員長：村瀬康一郎（岐阜大学）

委員（五十音順）：伊藤宗親（岐阜大学）、今井亜湖（岐阜大学）、興戸律子（岐阜大学）、

加藤直樹（岐阜大学）、川上紳一（岐阜大学）、河崎哲嗣（岐阜大学）、田村知子（岐阜大学）、

益子典文（岐阜大学）、松原正也（岐阜大学）

2014年 日本教育工学会 夏の合宿研究会 案内（最終報）

思考力育成への教育実践や研究が進められるなかで、その評価については未だ試行錯誤の段階です。どのようにすれば思考力育成の評価ができるのか、そもそも評価自体ができるのかという問題に対し、個々の教員や学校が個別に取り組んでいるのが現状です。

2014年度夏の合宿研究会では、思考力育成の教育実践の事例をとりあげ評価に関する議論をします。そして、自分の学校ではどのような教育実践が行え、その評価について如何に進めていくことができるのかについて検討をします。思考力育成に関心のある学校現場の先生方と活発な議論ができる研究会にしたいと思えます。

- テーマ：「考える力をどのように評価するか」
- 日程：2014年08月09日（土）13:00～10日（日）12:00
- 会場・アクセス：仙台市 NAViS ワークショップルーム1
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-12-55
(JR 仙台駅東口より徒歩12分, JR 榴ヶ岡駅より徒歩1分)
<http://www.navis.co.jp/about/access.html>
※駐車場には限りがございますので、公共交通機関をご利用下さい。
- 対象：学校教育に関わる実践者（初等・中等教育の教員）、研究者、学生、その他教育関係者
- 定員：45名
- 参加費：2,500円（当日の資料代金）
(参加費は当日お支払い下さい。情報交換会の参加費は別途徴収させていただきます。)
- 宿泊：各自でご手配をお願いします。

■プログラムの概要：

- 【1日目】08月09日（土）（受付開始 12:30）
 - 13:00～ 開会
 - 13:15～14:00 アイスブレイキング
 - 14:00～14:45 初等中等教育・海外における思考力育成の事例発表（15分×3回）
 - 14:45～15:45 ダイアログ・セッション（30分×2回）＊1
 - 15:45～16:00 休憩
 - 16:00～17:00 トピック・ダイアログ（30分×2回）＊2
 - 17:00～17:30 振り返り・まとめ
 - 18:30～20:30 情報交換会（JR 仙台駅周辺）

- ＊1：発表者から提案されるトピックについてのダイアログ（対話）
- ＊2：参加者から提案されるトピックについてのダイアログ（対話）

- 【2日目】08月10日（日）（受付開始 09:00）
 - 09:30～10:30 対談「思考力育成の実践と評価の課題」
久保田賢一（関西大学 総合情報学部・教授）
稲垣 忠（東北学院大学 教養学部・准教授）
三宅貴久子（関西大学 初等部・教諭）ほか
 - 10:30～10:45 休憩
 - 10:45～11:50 ダイアログ・対談で検討された内容をもとに全体討議
 - 12:00 閉会

- 申し込み先：<http://t-konno.net/jset2014/>
- 問い合わせ先：今野貴之（明星大学） konno@t-konno.net までご連絡下さい。

研究会の開催

研究会
2014

テーマ 学習環境デザイン／一般

- 日 時：2014年07月05日（土）
- 会 場：明治大学 中野キャンパス
（〒164-8525 東京都中野区中野 4-21-1）
- 担 当：岸 磨貴子（m_kishi@meiji.ac.jp）

プログラム

発表時間：発表1件につき24分（発表19分，質疑5分）

A 会場(310 教室)

10:25-10:30 諸連絡

10:30-12:10 午前の部

- A1) 文脈横断論からみた国際交流学習のデザインに関する研究
今野貴之（明星大学）
- A2) 授業観察における学生と現職教員のモニタリングの違いー教師の実践的思考様式からの検討ー
荒巻恵子（帝京大学大学院）
- A3) 学生による評価基準の作成を取り入れた論証文作成の授業実践の評価
遠海友紀，村上正行（京都外国語大学），梅本貴豊（名古屋大学），久保田賢一（関西大学）
- A4) “わけあり論文”の投稿リスクに関するゲーム論的考察
北垣郁雄

13:10-13:15 委員会挨拶・諸連絡

13:15-14:55 午後の部-第一部

- A5) ICTを活用した遠隔教員研修の実施における条件と課題
森下孟，迫田孝志（鹿児島大学）
- A6) 子供のICT利活用能力に関する保護者の意識調査結果
安藤満佐子（総務省情報通信政策研究所），清水康敬（東京工業大学），小泉力一（尚美学園大学）
- A7) 短期大学におけるキャリア教育科目の受講時期と進路選択自己効力の変容
桑原千幸（京都文教短期大学／熊本大学大学院），
喜多敏博，合田美子，根本淳子，鈴木克明（熊本大学大学院）
- A8) 技術者育成支援情報システムの取組み
篠原邦彰（TOTO株式会社）

15:10-16:50 午後の部-第二部

- A9) 地域学習実践プロジェクトで学生は何を学んでいるのか
森玲奈（東京大学）
- A10) 現代美術を題材とした哲学対話ワークショップにおける実践者のデザイン過程
宮田舞（東京大学大学院），山内保典（大阪大学），岡田猛（東京大学大学院）
- A11) モラルジレンマを活用した情報モラル教育の実践
稲垣俊介（東京都立江北高等学校）
- A12) イングランドにおけるリーダーシップ研修の取組動向
小柳和喜雄（奈良教育大学大学院）

- 発表時間：当研究会は会員・非会員による討論の場を作ることを目的として開催してきました。討論時間を確保するために、持ち時間24分において質疑応答の時間を5分以上は確保していただいております。よろしくご理解願います。
- 参加費用：参加費は無料です。研究会報告集の年間予約購読代金（3,500円）を支払済みの本学会会員以外の方は、報告集代として1,000円を当日受付にてお支払い下さい。また、当日受付にて年間予約購読の申し込みも可能です。尚、年会費には研究会報告集の年間購読代金は含まれておりません。
- 交通案内：中野駅北口より徒歩約8分。中野駅をご利用の場合は、駅北口から公園に面したプロムナードを歩いて、噴水前で左折すれば、明治大学中野キャンパスです。
- バス停「中野四季の森公園」または「東京警察病院正門前」より徒歩約2分。路線バスをご利用の場合は、「中野四季の森公園」または「東京警察病院正門前」停留所で下車、キャンパスまで徒歩約2分です。
- 詳しくは、明治大学HPの「交通アクセス」をご参照下さい。

[<http://www.meiji.ac.jp/nakano/access/>]

- 昼食案内：学食（11:00～14:00）と売店（08:30～18:00）が利用できます。キャンパス外にもレストラン、コンビニが多くありますので、ご利用いただけます。
- 情報交換会のご案内：研究会終了後、中野駅周辺にて情報交換会を開催予定です。詳細につきましては研究会 Web ページをご覧ください。

研究会の発表募集

テーマ： 学校教育におけるポートフォリオの活用／一般

- 日 時：2014年10月11日（土）
- 会 場：日本女子大学目白キャンパス（担当：小川賀代）
- 申込締切：2014年08月10日（日）
- 原稿提出：2014年09月07日（日）

● 募集内容：

近年、ポートフォリオは、高等教育機関において急速に導入が進んでいます。この背景として、学習の深化や自律的な学習を求めるだけでなく、教育の質保証、FD、IRなどの要請もあると考えられ、活用の範囲を広げています。しかし、持続可能な取組みとするには課題が残っているのが現状です。

そこで本研究会では、多様な視点からポートフォリオ活用について情報交換を行うために、学校教育におけるポートフォリオの活用、実践の発表を募集します。今回は高等教育での取組みに限らず、初等中等教育での取組みの積極的な応募も期待しています。また、ポートフォリオの蓄積データの活用に関する発表、ポートフォリオを活用した質保証やFD、IRに関する発表も募集します。さらに、従来どおり、上記テーマにこだわらず教育工学一般の発表も募集します。

● 申込方法：研究会 Web ページよりお申し込み下さい。

● 原稿執筆：締切後1週間以内に、申込時に登録されたメールアドレス宛てに発表の採択結果と執筆要項をお送りいたします。

● 原稿提出：原稿の提出はPDF形式で、研究会 Web ページの「発表申込フォーム」より、発表申込時に発行された「受付キー」を使用してご登録下さい。なお、期限までにご提出いただけない場合は、自動的に発表取消となりますのでご注意ください。

今後の研究会のご案内

2014年	会場	申込締切	原稿提出締切
12月13日（土）	地域連携と教育実践／一般 梶山女学園大学	10月12日（日）	11月02日（日）
2015年			
02月28日（土）	学習支援環境とデータ分析 九州大学	01月06日（火）	01月27日（火）
	／一般		
05月16日（土）	（テーマ調整中）／一般 広島大学	03月15日（日）	04月05日（日）

年間予約購読のお勧め

- 年間購読：研究会報告集の年間予約購読価格は郵送料込みで3,500円です（当日売りは1冊1,000円と割高になります）。研究会の受付でも年間購読を受け付けております。

研究会の開催報告

- 日 時：2014年05月17日（土）
- 会 場：長岡技術科学大学
- 発表件数：19件
- 参加者数：52名（内非会員20名）

最寄り駅からの交通アクセスが非常に悪い立地にも関わらず、多くの方にご参加いただきました。

今回の研究会は、「ICTを活用した教育・学習／一般」というテーマで開催し、1人1台端末環境、タブレット端末、e-Learning、ポートフォリオ、グループウェア等の教育現場での実践活用が多く発表されました。会場では、研究者や教育者と様々な立場からの質疑や意見が出され、活発な議論が行われました。

本研究会を通じて、皆様の今後のご研究が発展し、多くの研究成果が生まれることを期待しています。ご参加いただいた皆様には、御礼申し上げます。また、午前と午後で受付・発表会場が変わり、ご不便をおかけしましたことを御詫び申し上げます。

担当：安藤雅洋（長岡技術科学大学）



日本教育工学会論文誌 特集号 論文募集

「特集：教員養成・現職教育の新しい展開」のご案内（第三報）

2012年08月に「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上策について」中教審より答申がなされ、「学び続ける教員像」が提案されました。これを受けて、教員養成の高度化、免許制度の見直し、さらに修士レベルの教員養成課程の改善と教職課程の質の保証等に関してそれぞれワーキンググループが設置されて検討が進められてきました。その後、国立大学法人のミッションの再定義等の動きとも連動し、現在、教員養成、そして現職教育に関わる大きな動きが生じています。

そこで、本特集号では、このような動きを踏まえた教育学研究の知見を集積したいと考えます。「学び続ける教員像」に呼応した各大学や自治体における様々な実践やそれを支える技術の開発、国内外の教員養成・現職教育の新しい動向の整理等に関する報告を募集します。

1.対象分野

- (1) 教員養成の質保証・高度化に資するカリキュラムデザイン, 方法の工夫
- (2) 教員養成の質保証・高度化に資する学習環境デザイン
- (3) 教員養成の質保証・高度化に資するコンテンツの開発と提供方法の工夫
- (4) 教員養成の質保証・高度化に資する ICT 等を活用した授業実践とその効果
- (5) 教員養成の質保証・高度化に資する学習評価 (e-Portfolio の活用などを含む) の方法
- (6) 教員養成の質保証・高度化に資する FD の取組
- (7) 教員養成の質保証・高度化に資する大学と自治体との連携した取組
- (8) 現職教育・校内研修に資するカリキュラムデザイン, 方法の工夫
- (9) 現職教育・校内研修に資するコンテンツの開発, 学習環境デザイン など

2.募集論文の種類

通常の論文誌と同様に、「論文」「システム開発論文」「教育実践研究論文」「資料」「寄書」を募集します。それぞれの論文種別については、投稿規定をご覧ください。

論文の査読は、通常の論文誌の場合と同じです。ただし、査読は2回限りとし、編集委員会が示した掲載の条件を修正原稿で満たさない場合は採録になりません。「ショートレター」として既に掲載されている内容を発展させて「論文」として投稿することも可能ですが、単に分量を増やして詳細に説明しただけでは発展させたことになりませんので、ご注意ください。なお、本特集号へ投稿された論文が特集号編集委員会にて対象分野外と判断された場合には、一般論文として扱うこととなりますので、あらかじめご了承ください。

3.論文投稿締め切り日 (2015年11月発行予定)

投稿原稿を02月04日(水)までに電子投稿をお願いします。ただし、02月11日(水)までは、論文を改訂することができます。締め切りの延長は行わない方針です。

投稿原稿提出締切 (電子投稿) : 2015年02月04日(水)

最終原稿提出締切 (電子投稿) : 2015年02月11日(水)

4.論文投稿の仕方

原稿は、「原稿執筆の手引」(<http://www.jset.gr.jp/thesis/index.html>)に従って執筆し、学会ホームページの会員専用 Web サイトから電子投稿して下さい。郵送による投稿は受け付けないことになりました。

5.問い合わせ先

日本教育工学会事務局

Tel/Fax : 03-5740-9505

電子メール : tokushu2015@jset.gr.jp

6. 特集号編集委員会

編集委員長 :

小柳和喜雄 (奈良教育大学)

副編集委員長 :

木原俊行 (大阪教育大学)

益子典文 (岐阜大学)

編集幹事 :

今井亜湖 (岐阜大学)

寺嶋浩介 (長崎大学)

委員 : 稲垣 忠 (東北学院大学)

梅澤 実 (埼玉学園大学)

鹿毛雅治 (慶應義塾大学)

加藤 浩 (放送大学)

向後千春 (早稲田大学)

澤本和子 (日本女子大学)

柴田好章 (名古屋大学)

島田 希 (高知大学)

高橋 純 (富山大学)

東原義訓 (信州大学)

姫野完治 (秋田大学)

深見俊崇 (島根大学)

永田智子 (兵庫教育大学)

野中陽一 (横浜国立大学)

森本康彦 (東京学芸大学)

村川雅弘 (鳴門教育大学)

日本教育工学会第 15 期第 8 回理事会 議事録

日 時：2014 年 05 月 10 日（土）14:40～17:10

場 所：日本女子大学 目白キャンパス 新泉山館 中会議室

出 席：

- （理事）山西潤一 会長，赤倉貴子 副会長，中山 実 副会長，吉崎静夫 副会長，赤堀侃司，大久保昇，小柳和喜雄，加藤 浩，木原俊行，久保田賢一，鈴木克明，寺嶋浩介，永岡慶三，南部昌敏，前迫孝憲，美馬のゆり，室田真男
（監事）永野和男（合計 18 名）

1. 前回の理事会議事録の承認について

第 15 期第 7 回理事会議事録が承認された。

2. 新入会員の承認について

会員の移動について承認した。

3. 各種委員会から

(1) 編集委員会

退任編集委員の後任委員と新規編集委員の選任について承認された。論文誌編集進捗状況（一般号，英文誌，ショートレター）の編集状況が報告された。来年度の特集号の企画内容について報告された。

(2) 研究会委員会

順調に研究会が開催されていることが報告された。

(3) 企画委員会

6 月開催のシンポジウムの内容について報告があり広報の依頼があった。

夏の合宿研究会の開催案（08月09日（土）・10日（日），仙台，小学校教員対象）が報告された。

(4) 大会企画委員会

来年度の全国大会の日程については，電気通信大学において，09月21日（月祝）～23日（水祝），ワークショップを大会前日の20日（日）に開催する予定であることが報告された。

「教育工学研究のグローバル連携を考える」の企画案について承認した。

(5) 顕彰委員会（三宮）

山西会長から，論文賞，研究奨励賞の選考進捗状況について報告された。

(6) 選挙管理委員会

山西会長から，選挙管理委員会委員長について南部理事を指名し，赤堀理事，永岡理事を委員として指名したい旨の発議があり，これを承認された。

(7) FD セミナー

今年度の計画を検討する旨，報告された。

(8) 広報委員会

ニューズレター（No.200 号，No.201 号）の台割案が示され原稿依頼先が確認された。学会案内のリーフレット 2 案について話し合った。

(9) 総務・会計

- ・第 5 回（平成 26 年度）日本学術振興会育志賞候補者の推薦について報告された。
- ・研究専門委員会（SIG 内規案）について，仮称を「SIG 委員会」とし，委員長に鈴木理事，他の理事に村川理事，大谷理事が指名された。設置に伴い特別企画委員会を発展的解消することを了承した。
- ・総会議案書（第 1 号議案～第 3 号議案）について報告された。
- ・教育工学選書出版事業について新規出版分が承認された。
- ・「教育工学事典」の絶版について報告された。
- ・学会の国際連携を考慮して学会 Web の英文化について早急に対応した旨が報告された。
- ・今後の事務局体制について検討することとなった。

4. その他

(1) 以下の協賛依頼を承認した。

- ・「New Education Expo 2014」（New Education Expo 実行委員会より）
- ・日本情報科教育学会第 7 回全国大会

(2) 今後の理事会

今後の理事会日程が確認された。

新入会員

(2014年02月28日～2014年04月28日) 68名 (正会員：42名, 准会員：4名, 学生会員：22名)

■正会員 (42名)

眞崎光司
渡會兼也 (金沢大学附属高等学校)
西村久美子 (A.C.C.国際交流学園)
久保裕也 (千葉商科大学)
古屋達朗
藤井勉 (誠信女子大学校)
長谷川大 (青山学院大学)
谷口進一 (金沢工業大学)
藤田朋己 (大阪総合保育大学)
豊田寿行 (鳥取環境大学)
片岡和香 (南国市立大篠小学校)
徳竹圭太郎
植原俊晴 (宝塚市立御殿山中学校)
帆莉信 (新潟県立教育センター)
谷津潤
福ヶ迫善彦 (流通経済大学)
藤本正己 (徳島文理大学)
鈴木務士
松本多恵 (名古屋大学大学院)
中西穂高 (帝京大学)
横溝賢 (感性デザイン学部)
廣庭晴香
(社会医療法人緑泉会整形外科米盛病院)
網谷厚子 (沖縄工業高等専門学校)
守田弘道

下園幸一 (鹿児島大学)
森田淳子
佐藤久恵
高橋由起子 (岐阜大学)
藤田篤
杉山祐子 (中部学院大学短期大学部)
倉掛崇
片岡靖
谷昌之 (大阪府立貝塚高等学校)
稲葉芳成 (立命館宇治中学校・高等学校)
佐藤幸博
(埼玉県立所沢おおぞら特別支援学校)
堅田明義 (中部学院大学)
佐野美奈 (大阪樟蔭女子大学)
中里陽子
木村敦 (東京電機大学)
藤浦五月
小島彰二 (名古屋高等学校)
浦川邦夫 (九州大学経済学研究院)

■准会員 (4名)

遠藤麻衣子
(株式会社ビジネスコンサルタント)
岩崎暁 ((株)電通)
宇野聖子 (武蔵野大学)
小野勝

■学生会員 (22名)

佐久間大 (東京工業大学大学院)
小泉ふゆか
(公立ほこだて未来大学大学院)
多田昌導 (兵庫教育大学教職大学院)
村津啓太 (神戸大学大学院)
藤堂健世 (東京学芸大学)
鈴木豪 (東京大学大学院)
長沼祥太郎 (京都大学大学院)
中野友香子 (東北大学大学院)
望月耕太 (静岡大学大学院)
田開寛太郎 (富山県立大学大学院)
綾田栞 (香川大学大学院)
石島照代 (東京大学大学院)
古市直樹 (東京大学大学院)
鈴木潜 (香川大学大学院)
笠野由衣 (熊本大学大学院)
漆畑文哉 (愛知教育大学大学院)
今度珠美 (鳥取大学大学院)
鈴木二正 (慶應義塾大学大学院)
長谷川慈 (富山大学大学院)
江藤真美子 (九州大学大学院)
中田直子 (早稲田大学)
渡辺光輝 (千葉大学大学院)

◎学会日誌

2014年

- ・2014年07月05日(土)
研究会「学習環境デザイン」(明治大学)
- ・2014年08月09日(土)～10日(日)
夏の合宿研究会「考える力をどのように評価するか」
(NAVIS ワークショップルーム1, 仙台市)
- ・2014年09月19日(金)～21日(日)
第30回全国大会(岐阜大学)
- ・2014年10月11日(土)
研究会「学校教育におけるポートフォリオの活用」(日本女子大学)
- ・2014年12月13日(土)
研究会「地域連携と教育実践」(椋山女学園大学)

2015年

- ・2015年02月28日(土)
研究会「学習支援環境とデータ分析」(九州大学)

◎国際会議の案内

2014年

- ・EDM 2014
<http://www.educationaldatamining.org/EDM2014/>
(7/4 - 7, London, UK)
- ・ICWL 2014
<http://icwl2014.tlu.ee/>
(8/14 - 17, Tallinn, Estonia)
- ・E-Learn 2014
<http://www.aace.org/conf/elearn/>
(10/27 - 30, New Orleans, USA)
- ・WALS 2014
<http://www.walsnet.org/bandung-2014-publicity.html>
(11/25-28, Bandung, Indonesia)
- ・ICCE 2014
<http://icce2014.jaist.ac.jp/icce2014/>
(11/30-12/4, Nara, Japan)

2015年

- ・SITE 2015
<http://site.aace.org/conf/>
(3/2 - 6, Las Vegas, USA)

お問い合わせ先 E-mail

- 論文投稿に関するお問い合わせ
編集委員会 editor@jset.gr.jp
- 研究会の開催についてのお問い合わせ
研究会事務局 study-group-core@jset.gr.jp
- 全国大会の開催についてのお問い合わせ
大会企画委員会 taikai2014@jset.gr.jp
- 合宿研究会やシンポジウムの開催について
のお問い合わせ
企画委員会 kikaku@jset.gr.jp
- ニュースレター編集に関するお問い合わせ
広報委員会 kouhou@jset.gr.jp
- その他のお問い合わせ
学会事務局 office@jset.gr.jp

広報委員会

担当副会長：赤倉 貴子(東京理科大学)
広報委員長：南部 昌敏(聖徳大学)
幹事：高橋 純(富山大学)
委員：石塚 文晴(福岡工業大学短期大学部)
富永 敦子(早稲田大学)
堀田 博史(園田学園女子大学)

E-mail : kouhou@jset.gr.jp

発行所●

日本教育工学会事務局
〒141-0031
東京都品川区西五反田 8-3-16
西五反田 8 丁目ビル 8F
TEL&FAX 03-5740-9505
E-mail : office@jset.gr.jp
<http://www.jset.gr.jp>
郵便振替00180-2-539055

日本教育工学会ニュースレター
No. 201
2014年6月20日

発行人●会長 山西 潤一(富山大学)